

さいたま市市民活動サポートセンター広報誌

サポセン通信

vol.19

発行：2025年9月

市民活動をしている／始めようと考えている方

▶NPO法人会計基礎講座

@RaiBoC Hall（市民会館おおみや）集会室10



NPO法人会計基礎講座NPOの
会計事務や決算書の作成方法を学びます。

日時 11月14日（金） 14:00～16:00

FAX・電話・FAX・メールにて受付中（先着順）

市民活動をしている／始めようと考えている方

▶防災対策講座

@さいたま市市民活動サポートセンター中央ラウンジ



防災ゲーム「クロスロードゲーム」を通じて
災害時の問題と対応策を考えます。

日時 12月13日（土） 14:00～16:00

10月6日（月）10:00～ 窓口・電話・FAX・メールにて受付（先着順）

【お問い合わせ・申込先 さいたま市市民活動サポートセンター TEL：048-813-6400 FAX：048-887-0161 E-mail:supportcenter@saitama-culture.jp】



助成金情報

▶「地域助け合い基金」／公益財団
法人さわやか福祉財団【常時受付】



▶2026年度 県域安全事業助成【2025
年8月1日～2025年10月31日】



本情報誌は号より、市民ボランティアに記事の取材から編集まで携わっていただく協働発行となりました。これに伴い、名称も「ニュースレター」から「サポセン通信」へとリニューアルしています。



さいたま市市民活動サポートセンター

（指定管理者；公益財団法人さいたま市文化振興事業団）

所在地：〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町11-1 コムナーレ9階

TEL：048-813-6400

FAX：048-887-0161

開館時間：9時～21時30分

第16回手をつなごう！ さいたま市民活動夢マルシェ！

令和7年5月18日（日）、浦和駅東口駅前市民広場にて「さいたま市民活動夢マルシェ」が開催され、多くの人で賑わっていました。このイベントは地域×行政×市民の協働と交流が目的のイベントです。主催のさいたまつくりての輪、大塚さんは「年齢や立場を超えて、共感と行動でつながる市民の輪を広げていきましょう」と話します。



出店希望の
市民団体・ステージ
募集中

当日は、主催のさいたまつくりての輪、共催のさいたま市、そして各参加団体が協力し、市民/福祉団体によるハンドメイド作品の販売、ものづくり体験、ステージ発表など様々なブースが出店されていました。

一部ブースのご紹介

木工房 Studio Char

- ・自然の木の色を生かしたインテリア小物！

クルド文化教室

- ・クルド人の女性が作った、刺繍糸を使った“オヤ”という繊細な手芸作品を販売。

Qs club

- ・地元のビール工場の廃材（クラフトビールの袋）を使ったバックなどを販売！

コグマ工房

- ・草木を染料とするナチュラルな染色作品

いちごハウス

- ・障がいのある方の作業所で作られた、カラフルな染色作品や編み物などの小物を販売。

ステージイベント

- ・手話パフォーマンスグループSignさん、フラダンスカイレオさん、ギター&エアストさん、殺陣IMONさんらの手掛けるパフォーマンス!!

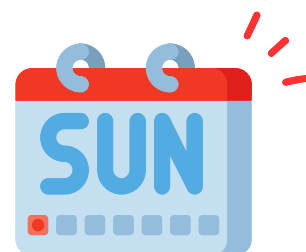


編集ボランティア取材中♪

次回の夢マルシェは…

NEW 10/05

NEW 11/23



10:00~16:00開催！

編集ボランティアからのひとこと

各団体のみなさんは、さいたまつくりての輪を通してつながりを感じながら作品制作をしたり、販売、発表の場として**有意義に**市民活動をしていらっしゃいました。私たちもスタンプラリーを片手に楽しみながら各ブースを回り、充実した1日を過ごすことができました。



ORGANIZATION >

充実したハンドメイド生活/ さいたまつくりての輪

さいたまつくりての輪とは？

ハンドメイド作家さん（以降メンバー）が集まり、共感と行動で繋がる活動開始から5年目を迎えた団体です。メンバー同士が、パーソナルスペースを守りつつ、**お互いの作品を認め合い**、やさしさの繋がりを大事にしています。

活動サイクルと内容

決まったサイクルで集合するのではなく、イベント毎にメンバーを募り、参加可能なメンバーで活動しています。活動拠点は近郊各地のマルシェ、自治会、子ども食堂など様々です。

内容は大きく分けて2つです。

- ①メンバーの作品展示、販売
- ②ワークショップ開催



さいたま
つくりての輪
ホームページを
チェック！

活動参加のメリット

・作品を展示販売するにあたって、個人だとハードルが高いと感じる場面でも、団体として活動することで**年に数回の出店**をメンバーと協力して実現できています。

・ワークショップ活動実績も好評いただき、活動の幅や交流の輪を広げることができています。

・提案型メンバーに恵まれていて、イベント準備～実施もお互いの強みを活かしながら進めています。イベントへは**毎回全員参加ではなく**、そのイベント毎に参加者を募って参加可能なメンバーで運営しているところもこの団体活動に長く参加できるメリットだと感じています。

活動の原動力



大切な作品の展示販売機会があること！

「自分の作品を見てもらえる！」、「作り手の思いを直接来場者に伝えられる！」、「作品を気に入ってもらえれば購入してくれる！」などが、次の作品に取り掛かる原動力ですね。

ワークショップでは皆さんに喜んでいただける企画を考えるのも楽しみになっています。そして、参加者の**たくさんの笑顔がエネルギーになります！**

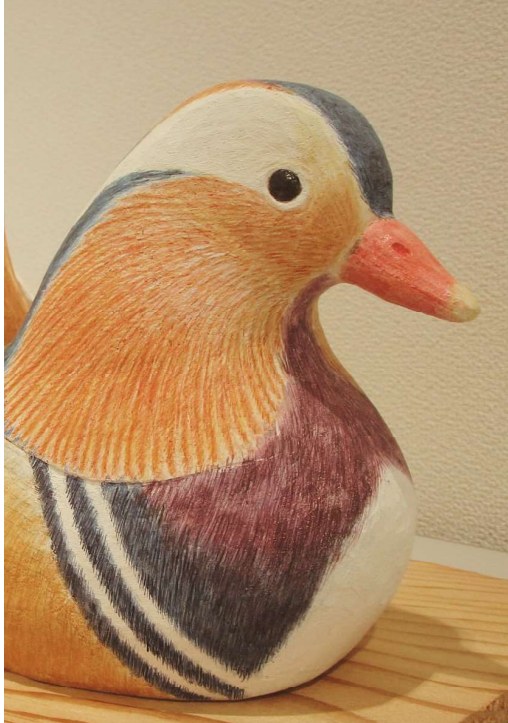
活動に興味のある人へ

イベントで私達を見かけたらお気軽に声をかけてください。代表：塚田にご連絡でも大丈夫です。是非、見学から始めて、活動と一緒に楽しみましょう！

E-mail:tsukuritenowa@gmail.com

浦和バードカービングクラブ インタビュー記事

さいたま市市民活動サポートセンター内の多目的展示コーナーにおいて、6月27日～29日の期間に展示されていた「浦和バードカービングクラブ」取材しました。



突然にすみません。浦和バードカービングクラブのご紹介をお願いします。

カービングとは彫刻するという意味です。果物や野菜、石鹸などを綺麗にカットした物をみたことありませんか？それらと同じでバードカービングは木材から鳥の形を彫り出し、彩色して仕上げる野鳥の彫刻なんです。

何故、野鳥の彫刻なんですか？

では、バードカービングの歴史を少しお話ししましょう。発祥はアメリカです。はじめはカモなどの狩猟時に鳥を誘き寄せるためのおとりとして作られました。

日本には一九八〇年頃に伝わりました。今では、野鳥そっくりに制作することで、博物館などでも鳥の生態を見てもらうため、剥製の代わりに展示をされています。鳥を殺す必要がないので自然保護にも役立っています。

始まりは野鳥の狩猟が目的だったのに、今では鳥の保護に役立っているんですね。

！ それでは、展示されている素敵な作品を制作されている皆さんのクラブ活動について教えてください。

一九九〇年から浦和区で鳥の手彫りを楽しむ趣味の会として発足し、さいたま市岸町公民館で月二回の活動をおこなっています。岸町公民館の最寄駅は浦和駅で、色々な場所からのアクセスが良いのでメンバーも通いやすいんですよ。施設には美術工作室もあり、工具などが大変充実しておりカービングには最適です。

！ 一九九〇年から三五年も活躍が
続いている魅力を教えてください。

今回の作品展もそうなんです
が、多くの皆さんに観てもらったり、家族に褒められるのは大変励みになります。

私たちのクラブはカービング制作において、家事などの忙しい中でも少しの時間を使って、自分のペースで作品を作り上げられることを大切にしています。会員のの中には、定年後にこのサポートセンターにきて、たまたまバードカービングの作品展に出会い、それがきっかけで入会された方もあります。



ホームページ
をチェック！

